

地中熱設置事例マップ（東海3県）



【入会案内】

正会員

特別会員

資格：愛知、岐阜、三重で活動する法人または個人
会費：法人《入会金》30,000円 《年会費》30,000円 《年会費》10,000円
資格：大学、研究所、国、自治体などの公的団体（協会、設計事務所、金融機関、マスコミなど）の所属者
会費：《入会金》免除 《年会費》免除

再生エネルギー「地中熱」を中心とした熱エネルギー利用促進を目指す

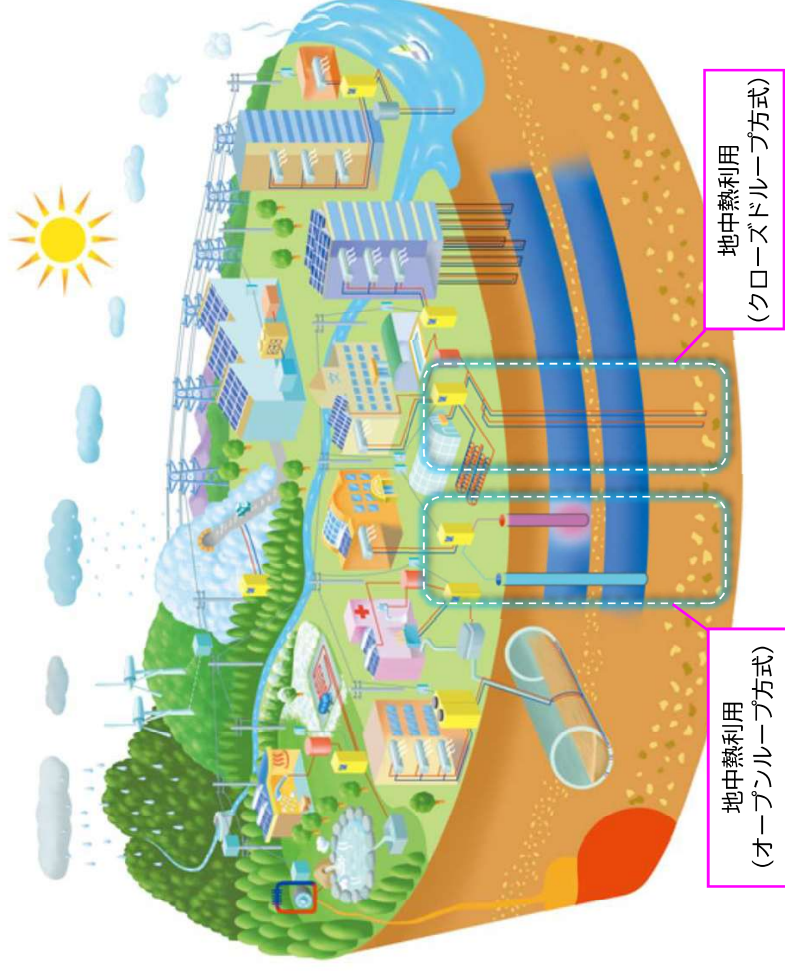
中部地中熱利用促進協議会

〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-14 東進名駅ビル7F
中部地中熱利用促進協議会 事務局
TEL：052-485-6433 MAIL：info@chuchikyo.org



再生可能エネルギー「地中熱」を中心とした熱エネルギー利用促進を目指す

中部地中熱利用促進協議会 (中地協)



(47都道府県中)

	愛知県	岐阜県	三重県
クローズドループ ポテンシャル ※1	2位	11位	21位
オープンループ 設備容量 ※2	5位	1位	32位

※1. 環境省再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)による推定ランキングを示す。
※2. ヒートポンプ設置実績に伴う(環境省「令和6年度地中熱利用状況調査結果」)集計結果を示す。

活動の概要

Concept 1

地中熱を含む再エネの利用による省エネルギー化とCO₂削減の支援

地中熱を含む再エネに関する情報提供をし、顧客の要望の実現の手助けをいたします。
CO₂の削減により、自治体のイメージや企業価値を向上できます。

Concept 2

地中熱関連の豊富な知識を持った専門技術者による情報提供

平成27年（2015年）に設立し、再生可能エネルギー「地中熱」を中心とした熱エネルギー利用促進のための活動を行っております。地中熱に関して専門的経験を持った会員が所属しているので、お客さまは情報収集と知識の習得ができます。

Concept 3

地中熱利用技術の普及啓発を目指したセミナーや見学会の開催

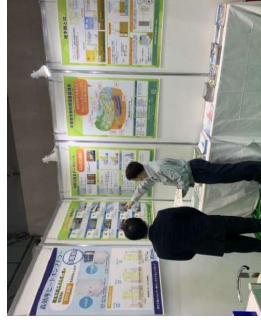
地中熱利用技術の普及啓発を目指し、学識経験者等の専門家を講師に迎えて地中熱や環境問題に関する地中熱施設の見学セミナー、設計セミナーを開催しています。

目的

中部地中熱利用促進協議会（中地協）は、循環型社会の実現、地球温暖化防止および省エネルギーのために有効な手段である再生可能エネルギー「地中熱」を中心とした熱エネルギー（地下水熱、温泉熱なども含む）利用促進のため、中部地方における産学官の連携を図り普及促進活動を行うことにより地域社会さらには日本および世界の持続的発展に寄与することを目的としています。

趣旨

- 1 地中熱の有効性についてセミナーや見学会等で広くPRを行う
- 2 地中熱関連の国の政策を自治体にPRする
- 3 地中熱関連の政策提言を行う
- 4 地中熱関連の普及促進団体や研究会との連携を図る
- 5 地中熱関連の金融支援のPRを行う



【活動状況（展示会・セミナー・見学会）】

「地中熱利用」は建物のZEB・ZEH化に有効です

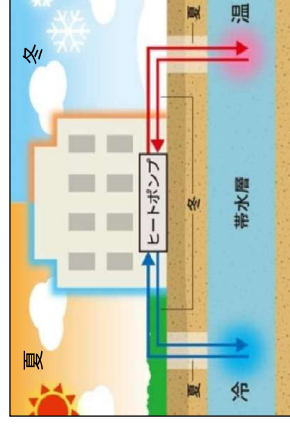


地中熱利用により30～50%空調エネルギー削減可能 ⇒ 省エネ効果大

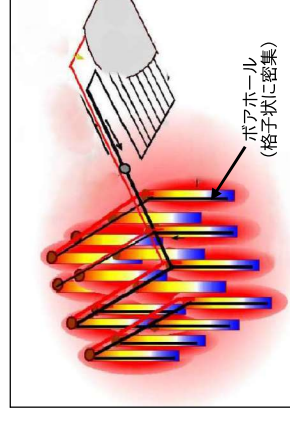
「地中蓄熱システム(ATES, BTES)」が注目されています

熱伝導率が小さく熱容量が大きい地中の特性を活かし、蓄熱と熱利用のサイクルにより熱エネルギーの効率利用を可能とする技術を「地中蓄熱システム」といいます。

- 帯水層蓄熱システム(ATES)：帯水層を蓄熱槽とした揚水井と還元井の夏冬切替による熱利用
- 掘削孔蓄熱システム(BTES)：地中熱交換器の密集により形成される蓄熱槽を活用した熱利用



<帯水層蓄熱システム (ATES) >
(環境省資料 ※一部加工)



<掘削孔蓄熱システム (BTES) >
(環境省資料 ※一部加工)